EVENT

ローズカフェ

概　要　OUTLINE

担　　当：情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
日　　時：2015年10月31日(土) 11:00〜15:00
場　　所：美術館 庭園
　　(国際たくみアカデミー制作の小屋)
スタッフ：情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 2人、
　　ボランティア 4人、他
参 加 費：無料
参加人数：120人

来場者に無料でローズティーを配布し、そのかわり任意でチューリップ型のサシェ(香り袋)づくりを行うイベント。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の学生らとボランティアスタッフが約120杯のローズティーを提供し、参加者はバラのポプリでサシェを作った。完成したサシェは、小屋の飾り付けとなった。

カフェの様子

電飾の看板

WORKSHOP

ホウキ作り

概　要 OUTLINE

担　　当：国際園芸アカデミー
日　　時：2015年10月31日(土)・11月1日(日)
　　12:00〜16:00
場　　所：美術館 庭園
スタッフ：情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 1人、他
参 加 費：無料
参加人数：10月31日 38人、11月1日 26人

ワークショップの流れ FLOW

1. 会場に吊り下げられたススキの束から、必要な分を取る。
2. ススキの束を揃えて、茎を紐で留める。
3. ススキの束に太い針金で柄を取り付ける。
4. あらかじめレーザーカッターで制作したプレートなどの装飾品を取り付ける。
5. 感想をカードに書き、会場に設置された木の枝に取り付ける。

枯れた草木を使ってホウキをつくるワークショップ。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の学生、研究員がインストラクターとなり、参加者はススキを束にしてホウキをつくった。つくったホウキは、「色の棲」近くの樹木に取り付けた。

今回のアートまるケットでは、ほうき作りのワークショップと和紙でのお花づくりに参加しました。スタッフの方々の応対もよく、楽しく参加できました。今後もこのようなイベントを企画して下さい。子どもも大人も楽しめるワークショップがなかなかないので、是非毎日企画してください。（岐阜市・40代女性）

材料

ススキの束づくり

案内看板

会場の様子

木の枝に取り付けられた感想

岐阜県美術館

CONCERT

アフリカンコンサート

概　要 OUTLINE

担　　当：美術館
日　　時：2015年11月1日(日) 14:00～
場　　所：美術館 庭園
スタッフ：AfroBegueBand Acoustic
　　[オマール・ゲンデファル(ボーカル、ジャンベ)、津田悠佑(ギター)、SuzKen(ベース)]
参 加 費：無料(ジャンベのワークショップ:1,000円)
参加人数：314人(ワークショップ参加者含む)

アフリカンミュージックの野外コンサート。ジャンベとは西アフリカで伝統的な深胴の片面太鼓のこと。ジャンベのリズムとオマールの歌声が庭園に響き渡り、終盤にはダンサーに導かれて老若男女問わずたくさんの来場者が踊った。コンサート終了後、オマールによるジャンベ演奏を体験するワークショップが行われた。「色の棲」はアフリカらしい様々なオーナメントやフラッグで飾り付けられた。併せて、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)によるホウキ作りワークショップ(p.28参照)、美術館内のカフェレストラン「喫褐苑(きっかえん)」による野外カフェを行い、大勢が来場した。

会場の様子

ジャンベの体験ワークショップ

会場の飾りつけ

ジャンベ

チラシ

EVENT

花ラジ

概　要 OUTLINE

担　　当：情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
日　　時：2015年11月7日(土) 13:00〜14:00
場　　所：美術館 庭園(たくみアカデミー制作の小屋)
スタッフ：情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 3人、
　　岐阜県立岐阜農林高等学校 4人、
　　美術館 2人、他
参 加 費：無料
参加人数：20人

ゲストの日比野とトーク

庭園でミニFM放送を実施したイベント。国際たくみアカデミーが制作した小屋を簡易のDJブースにし、庭園内の各所にラジオを設置して、放送を流した。岐阜農林高等学校の生徒3人がラジオパーソナリティとなり、ゲストに国際園芸アカデミーの吉田久美子准教授と日比野を迎え、アートまるケットのコンセプトや植物の特性、育て方について語った。

DJブースのセッティング

庭園でのラジオ放送

ゲストの吉田准教授とトーク

オンエア中の様子

会場の様子

記念撮影

森林文化アカデミー

WORKSHOP

［夢のまち・けん美ランド］つくり

概　要 OUTLINE

担　　当：森林文化アカデミー
日　　時：2015年11月21日(土)
　　①10:00〜11:30 ／ ②13:00〜14:30
場　　所：美術館 スタジオ
スタッフ：森林文化アカデミー 2人、
　　NGOガイアの杜 3人、
　　美術館 1人、他
参 加 費：無料
参加人数：①30人 ②15人

ワークショップの流れ FLOW

1. 木材の性質について知る。
2. 様々な形の皮のついた木材から、好きな物を選ぶ。
3. 好きな形の焼き印で木材に窓やドアを押す。
4. 仕上げにオイルがけをして、磨く。
5. けん美ランドに自分の家を設置する。
6. 名前と住所を「住民登録」し、近隣の住人に挨拶する。

美術館庭園を模したジオラマ［夢のまち・けん美ランド］を制作するワークショップ。木の良さを知り、美術館に親しむことを目的とした。森林文化アカデミーの卒業生が組織するNGO ガイアの杜と学生がインストラクターとなり、参加者は木材の形を活かしてつくった家をけん美ランドに設置した。ワークショップ後、完成した街をロビーに展示した。

ワークショップの説明

焼き印

ジオラマに家を設置

電熱ペンで「住所登録」

ロビーに展示

岐阜県美術館

CONCERT

花は…？

木歌(Mocca)VOICE LIVE with MIKI FUSEYA LIVE PAINT

概　要　OUTLINE

担　　当：美術館
日　　時：2015年11月23日(月・祝)
　　11:00～11:30 ／ 14:00～14:30
場　　所：美術館 実習棟、庭園
スタッフ：木歌(ヴォイス・パフォーマンス)、
　　伏屋美希(ライブ・ペインティング)
参 加 費：無料(髪飾りの生け花づくり:500円)
参加人数：118人(ワークショップ参加者含む)

チラシ

「色の棲」の前で行ったヴォイス・パフォーマンスによるコンサート。木歌は、独特の発声法による自身の声をその場で録音して機材で何回も重ねるアーティスト。演奏中は、伏屋が木歌の服にライブペイントを行った。ライブ前には木歌が生け花づくり(「色の棲」の花を使った髪飾り)のワークショップ、伏屋が服へのペイントを行い、多くの来場者が髪飾りやペイントされた服を身につけてライブに参加した。当日は美術館内のカフェレストラン「喫褐苑」による野外カフェを行った。

ペイントしてもらいとてもうれしかったです。色彩が良いと思いました。　（岐阜市・30代女性）

服にペイント

髪飾りのための花えらび

ヴォイス・パフォーマンス中のペイント

ペイントされた木歌の服

着物にペイント

森林文化アカデミー

EVENT

ぎふ木育キャラバン

概　要　OUTLINE

担　　当：森林文化アカデミー
日　　時：2015年11月28日(土) 10:00〜16:00
　　11月29日(日) 10:00〜15:00
場　　所：美術館 スタジオ
スタッフ：森林文化アカデミー 1人、
　　木育推進協議会 7人、
　　美術館 1人、他
参 加 費：無料
参加人数：11月28日 52人、11月29日 68人

会場の様子

親子で木育に触れ、木の良さを啓蒙するためのイベント、ぎふ木育キャラバン。森林文化アカデミーの卒業生が所属する木育推進協議会と学生が様々なコーナーやプログラムを運営した。参加した子どもたちは、オリジナルの積み木をつくって積み上げ、木馬を体験した。また、参加者間で会話できる場を設けた。

スタッフからの説明

木馬体験

木の種類の説明

積木遊び

積木で遊ぶ様子